

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

公表

事業所名	公表日 年 月 日				
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・定員を確認しながら調整をしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・段差をなくすよう工夫している。 ・自立課題は特に構造化されていると思う。 ・イラストやひらがなを用いて視覚的に分かりやすい環境が整備されている。	・2階にあるため、階段の昇降は若干気になる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・おもちゃ等の消毒をしている。 ・空気清浄機の設置と冬場は加湿器を利用している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			・初年度のためこれから行われると説明を受けた。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・定期的に面談を行っている。 ・意見を交わしながら行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		・今後の課題として認識している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	・入社時のeラーニングや外部のオンライン研修に参加している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・会議により職員で話し合い、一人ひとりに何が必要かを話し合っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・計画を確認して支援を行うよう指導されている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・スキルリストを使って確認している。 ・心理検査結果は共有されている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・担当制だが協力して行っている。	
適切な支援の					

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		10	・毎月別テーマで集団プログラムを行っている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		10	・必要なのは朝礼や昼礼で共有されている。 ・職員が誰を担当するかは事前に決定している。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		7	3	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	4	・全員が集まる時間は設けていないが気付いたことの共有は日々行っている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		10		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		10		
24	障害児相談支援事業所のサード担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		10		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		10		・他事業所や学校と電話等で連携を図ることがある。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		9	1	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		8	2	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	3	・センターの機能を希望している。 ・是非機会を設けて欲しい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	4	・今後の課題として認識している。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		10		・日々の記録などで共有している。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	5	・今後の課題として認識している。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		10		・契約時の書類等で説明していると思う。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		10		

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けている等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	7		・今後の課題として認識している。
40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10			・SNSやラインで発信されている。
42	個人情報取扱いに十分留意しているか。	10			
43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	4	6		・今後の課題として認識している。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		・マニュアルを作成し事業所内で管理をしている。 ・マニュアルは職員が自由に閲覧できるが保護者様にはされていないとおもう
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		・避難訓練を実施している。 ・BCPを作成の上事業所内で管理をしている。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	9	1		
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2		・指示書の提出を受けていない。 ・食事制限ある児童が現在いない。
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3		・安全計画を作成し事業所内で管理をしている。 ・安全計画の研修は受けているが訓練の記憶はない。
50	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			・重要事項説明書にて災害伝言ダイヤルが利用 いられることを伝えている。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	10			・記録に残している。 ・日々記録に残すことと、朝礼時などに共有 をしている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2		・定期的にセミナーなどの研修受講をしている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2		・個別支援計画書に記載されている。 ・契約時の説明を行っている。

保護者への説明等

非常時等の対応

## 公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	公表日 年 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	・定員を確認しながら調整をしている。	・もう少し広いと体を動かす活動ができて う。 ・おやつ、ロッカー、身支度の共有スペースが狭いと思う。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・段差をなくすよう工夫している。 ・自立課題は特に構造化されていると思う。 ・イラストやひらがなを用いて視覚的に分かりやすい環境が整備されている。	・2階にあるため、階段の昇降は若干気にな る。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・おもちゃ等の消毒をしている。 ・空気清浄機の設置と冬場は加湿器を利用し ている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・定期的に面談を行っている。 ・意見を交わしながら行っている。	・初年度のためこれから行われると説明を受 けた。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		・今後の課題として認識している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	・入社時のeラーニングや外部のオンライン 研修に参加している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・会議により職員で話し合い、一人ひとりに 何が必要かを話し合っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・計画を確認して支援を行うよう指導されて いる。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・スキルリストを使って確認している。 ・心理検査結果は共有されている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2		・担当前だが協力して行っている。

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・毎月別テーマで集団プログラムを行っている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	・必要なことは朝礼や昼礼で共有されている。 ・職員が誰を担当するかは事前に決定している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4	・全員が集まる時間は設けていないが気付いたことの共有は日々行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・事業所や学校と電話等で連携を図ることがある。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	・予定表等は保護者様に提出をしてもらっている。	
29	就学前に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	・対象児童なし	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5	・センターの機能を希望している。 ・是非機会を設けて欲しい。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	6		・今後の課題として認識している。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	・開催の情報を知らない。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・日々の記録などで共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5		・今後の課題として認識している。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			・契約時の書類などで説明していると思う。

× 支援の提供

関係機関や保護者との連携

